

● 学会発表の内容

凍結融解胚移植（自然周期）の際、hCG投与時のP4値が妊娠率に影響を与えるのか

医療法人社団 徐クリニックARTセンター

清須知栄子 今井智子 新居遙 伊藤真理 八木香菜子 徐東舜

■ 【目的】

新鮮胚移植の際、hCG投与時のP4値がその後の妊娠率に影響を及ぼすという報告があるが、自然周期の融解胚移植においても同様かどうか不明である。そこで今回我々は自然周期の融解胚移植の際、hCG投与時のP4を測定し、その後の妊娠予後にどのような影響があるか、後方視的に検討した。

■ 【対象】

2009年12月から2014年9月までの間に自然周期で融解胚移植をした862症例中、3BB以上の良好胚をSETで移植した症例中P4採血時にLHサージが起こった（LH値10mIU/mL以上）症例を除外した279症例（平均年齢：35.9 ± 3.7歳、平均既往移植回数：1.2 ± 1.6回）を対象とした。

■ 【方法】

279症例をhCG投与時のP4値により0.5 ng/mL未満（PL群：平均年齢：35.6 ± 3.4歳、平均既往移植回数：1.0 ± 1.2回）、0.5 ng/mL以上1.5 ng/mL未満（PM群平均年齢：36.1 ± 3.9歳、平均既往移植回数：1.3 ± 1.6回）、1.5 ng/mL以上（PH群平均年齢：35.9 ± 2.7歳、平均既往移植回数：1.7 ± 2.8回）の3つの群に分類した。その後の妊娠率等を比較検討した。

■ 【結果】

各群の平均年齢、平均既往移植回数に有意差は認めなかった。PH群の妊娠率は16.7%（2/12）でPM群の妊娠率59.2%（103/174）より有意に低かった。PL群の妊娠率は47.3%（44/93）と有意差はないもののPM群と比較すると低い傾向にあった。各群の流産率は、PL群20.5%（9/44）、PM群13.6%（14/103）、PH群0.0%（0/2）であり、有意差はなかった。

■ 【結論】

- ①hCG投与時のP4値は、1.5 ng/mL以上は新鮮胚移植の際と同様に妊娠率が低下した。
- ②P4値が0.5 ng/mL未満においても若干の妊娠率の低下をまねく結果となった。
- ③以上より自然周期の凍結融解胚移植の際、hCG投与時のP4値は0.5 ng/mL以上1.5 ng/mL未満の範囲内で行うのが望ましい。